

スイス・アルプス山巡り

中村 豊（会員番号 8）

アルプス三大北壁を実際に観たくなり、アルプスのほとんどの名峰を巡る少しハードな旅に出掛けた。スイスは九州ほどの大きさで山岳地帯60%、森林30%の自然に満ちた国である。南にイタリア、西にフランス、北はドイツ、東はオーストリアに囲まれ、言語は近隣の地域性を有しているが、スイス人は特有な気質と文化を持っている。スイス東部のハイジの里マイエンフェルトから時計回りに1週間でアルプスを巡った。

山岳の天気は変化が激しく、朝は晴れているが午後は雲が湧き、山を隠してしまう。最初のベルニナ（4049m）アルプスではモルテラッチ氷河の雄大な広がりを見る。



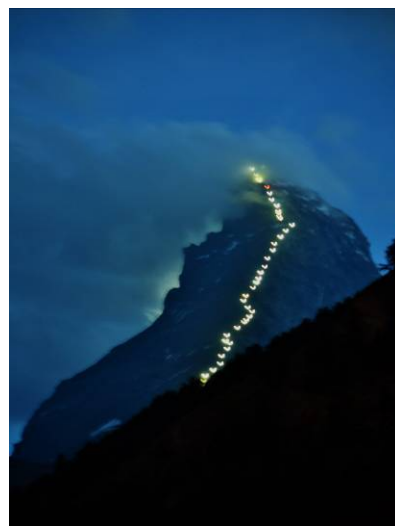
ベルニナアルプスとモルテラッチ氷河



世界遺産ランドヴァーサー石橋を渡る氷河特急

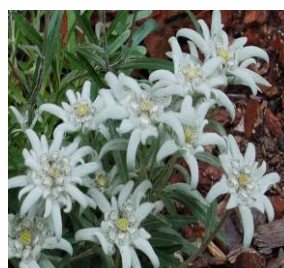
19世紀後半から開発されたスイスの鉄道網はスイス全土に行き回り、観光には交通手段ばかりではなく、美しい車窓風景を楽しませてくれる。第2回、第5回の冬季オリンピック開催都市のサン・モリッツからレーティッシュ鉄道アルブラ線に乗り、3連続のループ、アルブラトンネル、ランドヴァーサー石橋などの名所を巡り、美しい教会を中心とした小さな村々の牧歌的な景色が途切れることなく続く。

南部ヴァリス州のマッター谷の奥に位置するツェルマット村はアウトフライ（自動車乗り入れ禁止）で環境に配慮し、マッターホルンやモンテローザなどの登山基地として有名である。2015年はアルプス登山の幕開けとなったウインパーのマッターホルン初登頂から150年に当たる。それを記念して、ヘルンリ陵ルートにはLEDが灯された。赤点はザイル切断の滑落事故現場である。



夜間30分間点灯されたヘルンリ陵

明治31年に開通したアプト式の登山電車に乗り、30分程で高山植物の咲き乱れるゴルナーグラート駅に着く。展望台（3089m）からは岩と氷河の世界が見渡せる。



エーデルワイス



チングルマなどの花畑



3大北壁のひとつマッターホルン(4478m)

次の日はフランスのシャモニーからロープウェイでエギューユ・ドゥ・ミディ展望台(3842m)に昇る。ボゾン氷河の上にアルプスの最高峰のモンブラン(4810m)が押し掛かっている。モンブランは雄大だが、フランス側には鋭さは無い。それに比べて廻りの峰々はヴェルト、ドリユ、シャモニーなど雪を纏わないほどの針峰群が連なっている。左奥には3大北壁のひとつグランドジョラス(4208m)が聳えている。この他にもモンモディ(4466m)、タキュル(4248m)、ダンデュジェアン(4013m)など4千メートル峰が控える。シャモニーの街が下に小さく、美しい。



グランドジョラス(4208m)など 4000m級の峰々



シャモニー針峰群 後方はドリユ針峰群



シャモニーの美しい街並み

山旅の最後はベルナーオーバーランドのユングフラウ、メンヒ、アイガーの名峰巡りである。メンヒとアイガー

の山をトンネルで貫くユングフラウ鉄道に乗り、ユングフラウヨッホ駅(3454m)からエレベーターで スフィンクス展望台(3571m)に昇る。南にアレッチ氷河が巨大に横たわり、その右にユングフラウの大きな山塊が眺められる。雪原に出るとピラミッド状のメンヒが聳える。



1912年開通のユングフラウ山岳鉄道



ヨーロッパ最長のアレッチ氷河(全長 22km)

アルプス三大北壁難関のアイガー北壁を観るため、クライネ・シャイデック(2.4km)まで高山植物の咲く山道をハイキング。雲に隠れていた 2000m 近いアイガーの北壁がだんだん見えてくる。これで、長いようで短く感じられたアルプス三大北壁観光の旅が終わった。



アイガー(3970m)北壁

スイスは国民皆兵の永世中立国、直接民主制、連邦制、EU 非加盟など観光以外のスイス人気質や歴史などを知りたい方には、國松孝次氏(狙撃された元検察庁長官、元スイス大使)の「スイス探訪」をお勧めする。